

# 映画・テレビ製作向け オペレーショナルデータハブ

## 競争力を獲得する

世界中の製作会社や配給会社は、個々の視聴者に合わせたコンテンツの提供、独自のデータと分析の事業部門への提示、所有コンテンツに最適なニッチ市場の選択といった課題に直面しています。これらの組織は、これまで以上に迅速なコンテンツ提供と同時に、製作コストの抑制が必要です。しかし従来の製作ライフサイクルでは、数多くのコンポーネントを関連付けることができず、コンテンツへのアクセスが複雑で製作時間が長くなりがちです。

大手メディアやエンターテインメント業界のスタジオおよび企業は、これまでとは異なるアプローチとして MarkLogic の映画・テレビ製作向けオペレーショナルデータハブソリューションを利用しています。このデータハブは、サイロの解消、エンタープライズデータの統合、コンテンツの再利用を可能にし、コンテンツの効率的な製作と提供を促進します。

## コンテンツライフサイクル

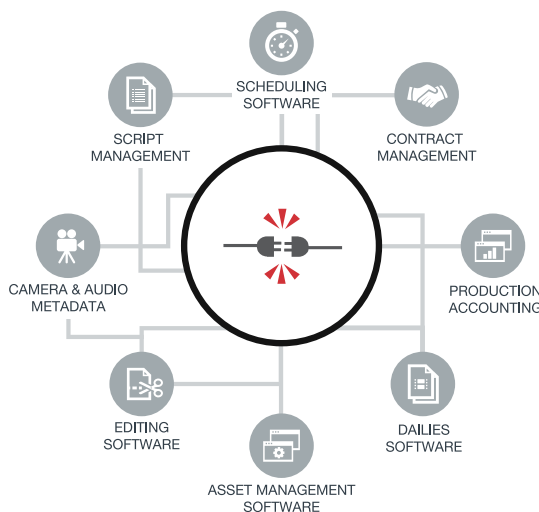
今日のメディアやエンターテインメントビジネスでは、適切なコンテンツへのアクセスが非常に重要です。製作ワークフローの自動化とメタデータの利用により、製作時間の短縮、コアコンテンツからの増収、収益機会の拡大を実現できます。製作ライフサイクル全体でデータやコンテンツの発見が容易になると、次のような数多くのビジネス上のメリットが生まれます。

- 製作ワークフローの自動化により業務を迅速かつシンプルに
- チーム、地域拠点、パートナー間でのコラボレーションを実現
- 迅速なコンテンツ提供

ユーザーインサイトとパフォーマンス指標に基づき、再利用コンテンツをより賢い方法で製作できます。また、製作ライフサイクルのメタデータをコンテンツと関連付けることで、作品・番組の強化と製作を促すよう継続的にプロセスを改善できます。

しかし、今日の製作ワークフローは複数のサイロ化されたシステム上に構築されています（立案、設計、パッケージング、統合、配給、利用状況分析システムなど）。このやり方では、情報にアクセスして、イノベーション、継続的改善、効率性向上に活用することが困難です。さらに悪いことに、システムが複数の業務部門や拠点で重複していることが多いため、この問題はさらに複雑になります。

このようなシステムを従来のポイントツーポイント方式で統合すると、複雑な多対多アーキテクチャになってしまいます。その結果、製作システムの拡張や革新的コンテンツによるビジネスチャンスへの対応が限られてしまいます。今日の市場ではタイムリーな対応が求められますが、柔軟性のない従来の技術では、テレビ番組や映画の製作に時間がかかりすぎるためチャンスを逃してしまいます。



映画・テレビ製作におけるデータサイロの現状

## オペレーショナルデータハブによるソリューション

MarkLogic® エンタープライズ NoSQL プラットフォームをコンテンツ制作ライフサイクル全体のデータハブとすることで、これらの問題に対処できます。これは新世代の製品やサービスの開発に必要なリアルタイムのエンタープライズ用プラットフォームとなります。このデータハブは、コンテンツとメタデータに関する「single source of truth (真実に関する唯一のソース)」となり、既存および将来のアプリケーションに対して信頼できる重要な情報を提供します。

データハブのアプローチにより制作コンテンツのライフサイクル全体（企画から、制作、提供 / 配給、アーカイブ化まで）を包括的に把握できます。また、映画・テレビ制作向けのオペレーショナルデータハブソリューションにより、制作チームは社員、パートナー、顧客に対してコンテンツのコラボレーション、発見、再利用、パッケージング、提供 / 配給の可能性を提供できます。

MarkLogicは、柔軟なデータモデルに基づいた新世代のデータベースです。絶えず変化する多様なデータソースが生成する情報の格納、管理、検索に加えて、リレーショナルデータベースが持つデータのレジリエンスと一貫性も担保しています。MarkLogic のオペレーショナルデータハブソリューションでは、MarkLogic のエンタープライズ NoSQL 機能によって以下を実現しています。

- 検索と発見
- 多様な形式のコンテンツデータ（XML、HTML、JSON）の迅速な統合と活用
- セマンティックによるコンテンツの関連付け（業界標準の RDF を使用）
- 異なる業務部門や地域拠点間での即時の自動レプリケーション
- HA（高可用性） & DR（災害対応）
- 柔軟性と拡張性

これらの機能により、以下が実現されます。

- **コラボレーション**：さまざまな地域、業務部門、市場間でコンテンツを共有し再利用する
- **コンテンツのパーソナライズ**：個々のユーザーごとに視聴体験を大幅にカスタマイズすることで、エンゲージメントを高める
- **コンテンツの収益化**：独自の方法で資産を活用し、コンテンツを収益化する
- **データの可視化と分析**：コンテンツの使用状況とパフォーマンスを測定する
- **検索とリサーチ**：すべてのコンテンツに対する検索、きめ細かいファセット、メタデータフィールド（マーケティング資料や俳優出演リール用のクリップの生成など）

## まとめ

MarkLogic のデータハブソリューションでは、制作ライフサイクル全体におけるコンテンツへのアクセス、業務の合理化、より包括的なコンテンツの提供を実現し、市場投入時間を短縮します。この革新的なソリューションを利用すれば、コンテンツクリエイター、プロデューサー、メディア企業は、競争力を手に入れ、ユーザーや視聴者に優れた番組・作品を提供できます。



MarkLogicのデータハブソリューション